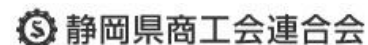


News Release



県下 38 の商工会と一体となり
小規模企業の支援を行っています

【平成 30 年 1 月期 小規模企業景気動向調査報告書】

静岡県商工会連合会

静岡県商工会連合会では、県下商工会地区内小規模企業の景気を把握するため、商工会の経営指導員に協力依頼し、小規模企業景気動向調査を毎月実施しています。

このたび平成 30 年 1 月期の調査結果がまとまりましたので報告します。

1 調査概要

- (1) 調査時点 平成 30 年 1 月 31 日
- (2) 調査対象 県下 38 商工会（うち 37 商工会より回答）【回収率 97%】
- (3) 調査対象業種 製造業（食料品・繊維工業・機械金属）、建設業、小売業（衣料品・食料品・耐久消費財）、サービス業（旅館・洗濯・理美容）の 10 業種
- (4) 調査方法 商工会の経営指導員に対するアンケート方式
- (5) 集計方法 質問項目（業況、売上、仕入単価、採算、資金繰り）の「好転・増加・上昇」とする数値からそれぞれ「悪化・減少・低下」とする数値を引いた値

2 概要（トピックス）

【製造に明るい兆しあるが、建設は人手不足、食品小売は野菜高騰など問題が顕在化】

産業全体の業況 DI（景気動向指数・前年同月比）は-8.6（前月-11.9、前年同月-11.4）で、前月比 3.3pt の好転となった。機械金属業に明るい兆しが見られるが、建設業では人手不足、食料品製造業、小売業では野菜価格の高騰など問題が顕在化しており、依然として厳しい状況が続いている。

【製造業】

業況は-1.8（前月-1.8、前年同月-9.7）と前月と不変であった。輸送用機械部品については受注が増加傾向との声がある一方で、コストダウンの要求が厳しいとの声もある。

食料品製造業では原材料価格が高止まりしたままの状況が続いている。

【建設業】

業況は-5.4（前月-13.5、前年同月-2.6）と前月と比べ 8.1pt の好転を示した。業界全体に人手不足感が非常に高まっている一方で、地区外に出向く事が多くなっているとの声も複数あった。

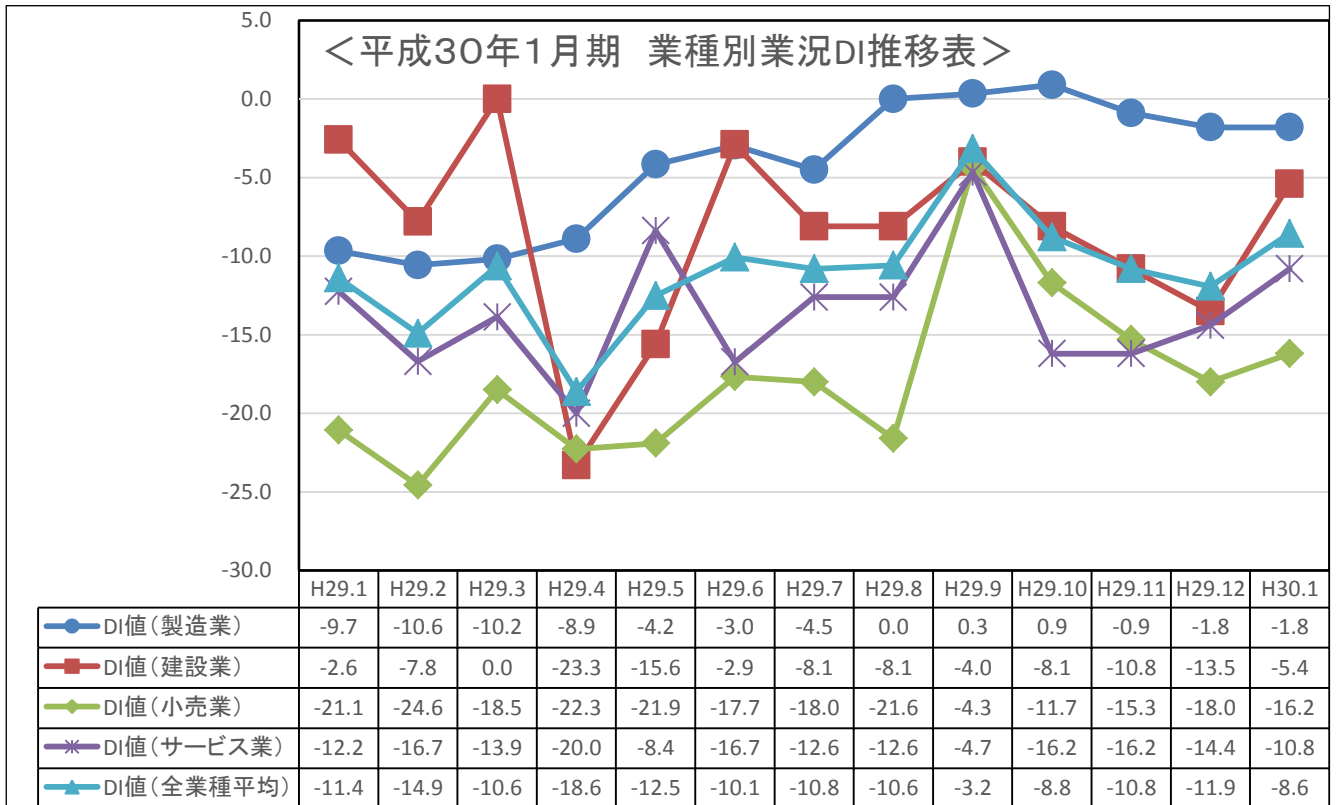
【小売業】

業況は-16.2（前月-18.0、前年同月-21.1）と前月と比べ 1.8pt 好転した。食料品小売業では、天候不順の影響で薬物野菜の高騰が続いている。衣料品については冬物が継続して売れている。

【サービス業】

業況は-10.8（前月-14.4、前年同月-12.2）と前月と比べ 3.6pt 好転した。旅館業では、新年会等の宴会需要が好調との声が複数あった。理美容業については先月の反動を受け各種 DI 値が悪化した。

3 本調査に関する問合せ 静岡県商工会連合会 情報・経理課 TEL054-255-8080〔担当：豊田〕



<経営指導員コメント抜粋>

【製造業】(食品製造業・繊維工業・機械金属業)

- ・ 食品業界の仕入単価の上昇が続いている。(中部)
- ・ 織布業は横ばいだが件数自体が減少しているため、売上に大きな増減はない。(中東遠)
- ・ 自動車関係の部品製造加工が順調。(伊豆)
- ・ 機械金属の人材派遣業において、人材が愛知県などに流れて人材確保が厳しい状況になっている。(西遠)

【建設業】

- ・ 人手不足が問題となっている。(伊豆、富士駿東、中部、中東遠、西遠)
- ・ 人手不足から人件費や外注費が上昇する中、それらを請負価格に反映する事が難しい模様。(富士駿東)
- ・ 地区外の仕事が増えている。(富士駿東、中部)

【小売業】(衣料品小売業・食品小売業・耐久消費財小売業)

- ・ 生鮮野菜の価格が高騰。(伊豆、富士駿東、中部、中東遠、西遠)
- ・ 野菜の価格高騰が思ったよりも長引いているとの事である。しかしながら生活必需品の為買い控えにはなっていないとの事 (中部)
- ・ 冬用衣類、保温性衣料が売れた。(中東遠)
- ・ 耐久消費財では、寒気団の影響で全国的に寒いこともあり、エアコンの売上が昨年より伸びた。(西遠)

【サービス業】(旅館業・洗濯業・理美容業)

- ・ 旅館業では、新年会や法事の宴会が多かった。(伊豆、中部)
- ・ 洗濯業では、気温の寒い日が続き洗濯物が乾かず売上が多かった。(中部)
- ・ 理美容は、高齢客が増え介護施設や出張サービスまたバリアフリー化した店舗のニーズに対応する。(中部)

小規模企業景気動向調査(平成30年1月末)

1.食料品製造業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-16.2	-16.2	不変
売上	0.0	0.0	不変
仕入単価	21.6	21.6	不変
採算	-16.2	-16.2	不変
資金繰り	-16.2	-16.2	不変

2.繊維工業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-5.4	-5.4	不変
売上	-8.1	-10.8	増加
仕入単価	2.7	5.4	低下
採算	-8.1	-10.8	好転
資金繰り	-2.7	0.0	悪化

3.機械金属業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	16.2	16.2	不変
売上	21.6	21.6	不変
仕入単価	13.5	16.2	低下
採算	8.1	-5.4	好転
資金繰り	0.0	-5.4	好転

4.建設業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-5.4	-13.5	好転
売上	-2.7	-10.8	増加
仕入単価	13.5	8.1	上昇
採算	-5.4	-13.5	好転
資金繰り	-8.1	-10.8	好転

5.衣料品小売業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-18.9	-24.3	好転
売上	-16.2	-18.9	増加
仕入単価	2.7	8.1	低下
採算	-10.8	-18.9	好転
資金繰り	-13.5	-16.2	好転

6.食料品小売業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-24.3	-16.2	悪化
売上	-13.5	-5.4	減少
仕入単価	48.6	32.4	上昇
採算	-37.8	-21.6	悪化
資金繰り	-13.5	0.0	悪化

7.耐久消費財小売業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-5.4	-13.5	好転
売上	-5.4	-5.4	不変
仕入単価	2.7	10.8	低下
採算	0.0	-8.1	好転
資金繰り	-8.1	-8.1	不変

8.旅館業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	2.7	-5.4	好転
売上	2.7	-10.8	増加
仕入単価	21.6	13.5	上昇
採算	-8.1	-8.1	不変
資金繰り	-13.5	-13.5	不変

9.洗濯業

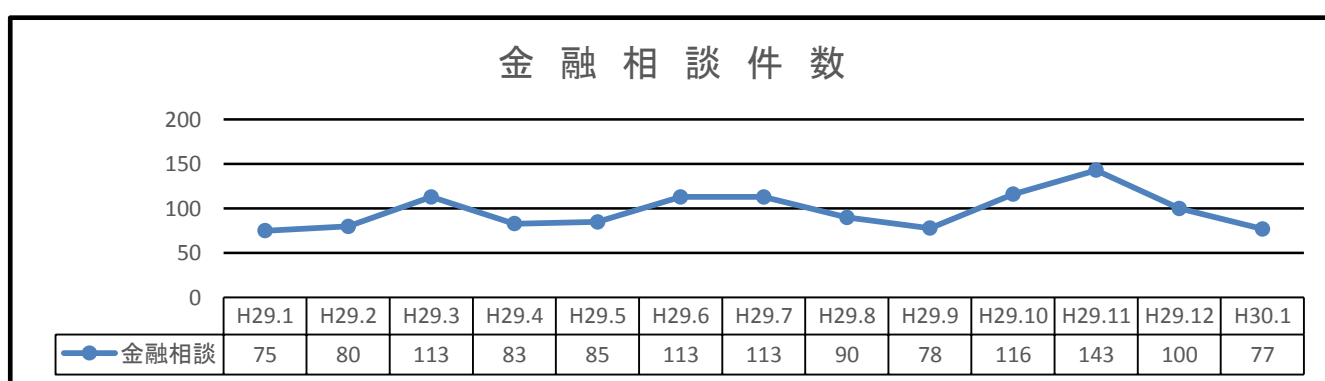
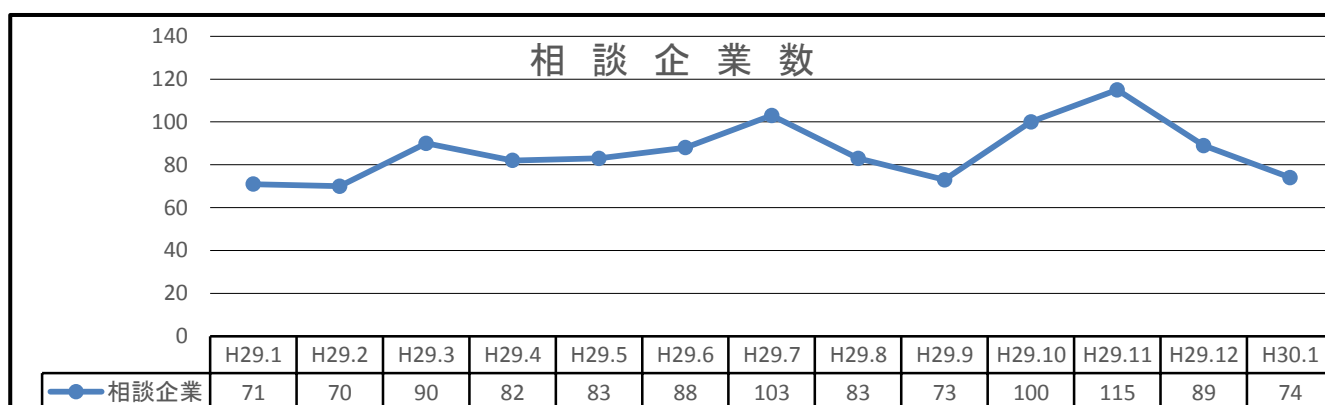
	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-13.5	-18.9	好転
売上	-8.1	-13.5	増加
仕入単価	5.4	13.5	低下
採算	-2.7	-13.5	好転
資金繰り	-8.1	-13.5	好転

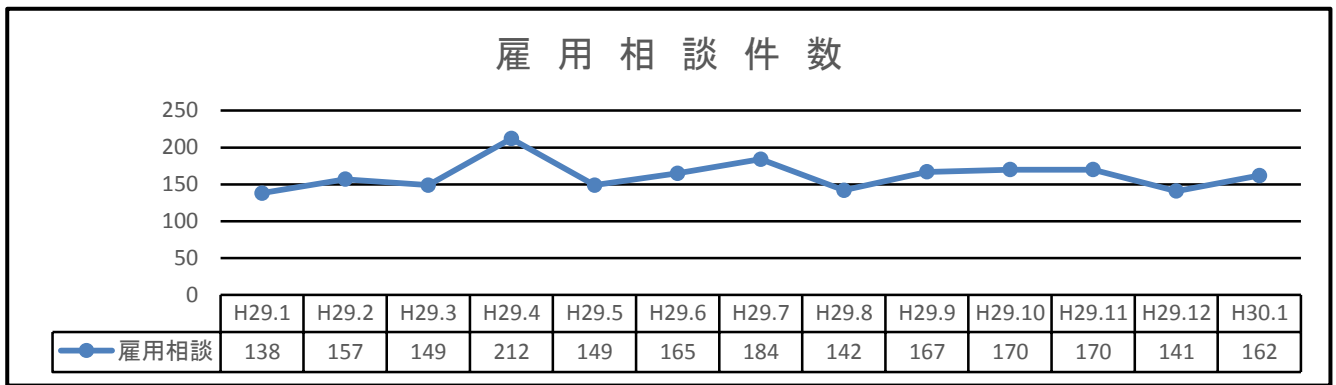
10.理美容業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-21.6	-18.9	悪化
売上	-16.2	-10.8	減少
仕入単価	0.0	0.0	不変
採算	-13.5	-8.1	悪化
資金繰り	-16.2	-10.8	悪化

金融・雇用相談実績月次報告(平成 30 年 1 月期)

内容別内訳 (※ 1 件の相談で複数の対応をした場合はそれぞれにカウント)	今月	前月	前月比
【相談企業数】	74	89	-15
【金融相談件数】	77	100	-23
新規融資（借換えを除く）	50	61	-11
既存債務の借換え	22	36	-14
借入れ条件変更	3	1	2
消費者金融・商工ローン関連	0	0	0
貸し渋り・貸し剥がし	1	0	1
その他	1	2	-1
【雇用相談件数】	162	141	21





【金融相談】

金融相談件数は、77件と前月(100件)に比べ23件減少した。資金需要は低調との声が複数あった。設備資金よりも運転資金に関する相談の方が多い。

＜経営指導員コメント＞

- ・資金需要は低調。(富士駿東、中部)
- ・融資相談1件と少なかった。また、相談事業所の経営状況も良くなかったため、公庫担当者と連絡をして融資斡旋を行わないこととなった。(中部)
- ・年度末が近づき、新規開業・独立に関する金融相談が増えてきた。(中東遠)

【雇用相談】

雇用相談件数は、162件と前月(141件)に比べ13件増加した。人手不足や定着率の低さを挙げる声が相変わらず多い。

＜経営指導員コメント＞

- ・業種問わず人手不足の状況に変化なし。一方、円滑に退職となるための相談案件が見られる。(伊豆)
- ・管内の中小企業の雇用は安定している。(富士駿東)
- ・人材確保の有効な方法など相談が多い。外注扱いを社員にするために各種保険の整備をする企業が増えてきた。事業所に対しては、休日と給与を見直すように指導している。最近の若者は、賃金よりも休日や勤務体系を重要視する傾向があり、年間休日を増加したり、夜勤を希望者のみとする等の配慮を行った結果、求職者があったとの報告もある。交替勤務を進んでいるのは、外国人労働者という傾向がある。(西遠)

【その他商工会管内に関するコメント】

- ・河津桜の開花が例年並みで落ち着きそうであり、2月中旬以降の観光客の動向に注目している。(伊豆)
- ・おんな城主直虎終了。龍潭寺等関連施設訪問客の減少。大河ドラマ館期中通算来場者約78万人。龍潭寺期中通算来場者約63万人。(西遠)
- ・海苔もしらすも牡蠣も良くない。漁業者の顧客が7から8割を占める地域小売店においては影響が大きい。(西遠)